

トップメッセージ

澤藤電機グループは、世界の人々の期待に応える製品・サービスを提供し、真摯にCSR活動に取り組み、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

このたびの東日本大震災により被災された方々および
そのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

澤藤電機は、1934年の創立以来、電装品、発電機、冷蔵庫の3つの事業を
堅実に育て、国内をはじめ海外100カ国余のお客様に製品・サービスの提供を
しております。

CSR活動取り組み

経営理念である「澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄えを与える」のもとに、真摯にCSR活動に取り組むこと
によって、社会的責任を果たし社会から信頼される企業をめざしていきます。

このためグローバルな観点でステークホルダーとのコミュニケーションを深
めていくように努力してまいります。

また、法令を遵守し、社会的規範、良識に基づいた企業活動をしてまいります。
このようなCSR活動を通じて、澤藤電機の企業価値の増大を図ってまいります。

V字回復を支えた燦燦活動

澤藤電機グループは、2008年9月のリーマンショックに端を発した世界的
な景気後退の影響により、過去に経験したことのない厳しい事業環境に直面し
ておりました。

しかし、私たちは、この危機を企業変革や体質強化の絶好な機会と捉え、大
きな変化にも揺るがない経営基盤を築くために、燦燦活動の基本精神のもと全
社一丸となって、澤藤再建プランを推進・実行し業績のV字回復を果たしました。

成長への基盤固めと持続可能な社会への貢献

今、社会は先進国の景気停滞、新興国の台頭、環境技術の改革などの経済や
技術革新に大きな変化が急激に起こっており、時代の転換期を迎えています。

このような中で成長への基盤を固めるために、スリムで強靱な企業体質を築
き、澤藤電機の強みを生かして市場と顧客の期待に応える新たな事業、製品、
技術の開発を進めてまいります。

さらに全事業の商品および生産活動における環境負荷低減を重要課題として
取り組み、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

澤藤電機のCSRの取り組みに対して、より多くの皆様方のご意見をいただき、
新たな課題としていきたいと考えております。どうか忌憚のないご意見をお寄
せいただきますようお願い申し上げます。



2011年7月
澤藤電機株式会社
代表取締役社長

上田 英樹

基本理念

澤藤電機グループは、企業姿勢を示した「社是」と企業の使命を表明した「経営理念」を企業活動の基本と考えています。

この「経営理念」の遂行に向け、「澤藤燦燦(3×3)活動」と「行動規範」を定め全社一丸となった取り組みをしています。

社 是 [制定 1960年7月]

1. 研究を進め技術を練磨し輝かしく躍進しよう
2. 顧客に対する責務と信義を守り社会に貢献しよう
3. 労使協調相互信頼により明るい職場を樹立しよう

経営理念 [制定 1990年10月 改訂 2001年4月]

澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄を与える

- * 顧客に感動を
- * 自然に清らかさを
- * 社業に携わる人に栄を

澤藤燦燦(3×3)活動・スローガン・行動規範

澤藤燦燦(3×3)活動

- 3つのために(個人、職場、会社)
- 3者(社員、管理者、役員)が一丸となって
- 3つの活動を行う

活動の3本柱

- ①FI活動(問題、課題=「宝」をFind, Identifyする)
- ②KMKM(決める、守る、記録する、モニターする)活動
- ③KRRe活動(決めた事をReview, Renew, Refresh)

「スローガン」と「行動規範」

- 2011年度スローガン
企業体質の強化と
成長事業育成の加速
- 行動規範:A・D・S・L
Active (自ら、能動的、積極的に)
Dynamic (動的、激しく、活発、活動的に)
Speedy (迅速、速やか、素早く)
Leadership (先頭に立つ、指導、統率)

CSR への取り組み

澤藤電機は「良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄を与える」を基本理念として掲げています。

これらは今日言われますCSR(企業の社会的責任Corporate Social Responsibility)の精神に合致するものです。豊かで住みやすい社会の実現に貢献し、世界中のお客様の期待に応えることができる真のグローバル企業として成長していくことが、我々の使命であると考えています。

このように社会的責任を達成するためには多くのステークホルダーとの連携・協力が不可欠です。これからも企業活動を支えていただいているさまざまな立場の皆様とともに成長していくことを念頭におき、社会に対して責任を果たすことによって企業価値の持続的向上に努めてまいります。



特集 東日本大震災への対応

このたびの東日本大震災により被災された方々およびそのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。当社では少しでも復旧のお役に立てるよう、できる限りの支援活動を行ってまいりました。今後も支援活動などに努力してまいります。

澤藤電機、代理店・特約店様、仕入先様の状況と支援

澤藤電機

緊急地震対策室の設置

震災発生後、直ちに社内に緊急地震対策室を設けて、社員、代理店・特約店様、仕入先様などの被害状況の把握や復旧対策の検討・実施をしてきました。引き続き事態の収束まで継続していきます。

被害の状況

人的被害はありませんでした。また、建屋設備においては、外壁、ダクトの損傷、落下物などの軽微な損傷にとどまり生産に支障はありませんでした。

生産への影響

震災のあった3月、翌4月については、材料や部品など仕入への影響、計画停電などにより一時はライン稼働停止など生産活動に影響がありました。

代理店・特約店様

被害の状況

東北、関東の特約店様に建屋の損傷、ガラス割れなど、大きな被害が出ました。なかでも宮城県石巻市、岩手県釜石市の特約店2店が津波による被害を受けたほか、福島県南相馬市の特約店1店が福島第一原子力発電所の放射能問題による影響を受けました。

支援活動

全国の代理店・特約店様より義援金や飲料水、食料、乾電池などの支援物資が拠出され、東北地区の代理店である永興電機(株)より被害に遭われた特約店3店に届けられました。

仕入先様

被害の状況と支援活動

購買部内に対応専用室を設けて、仕入先様の被害状況、部品調達の情報を把握した結果、被災地域に当たる関東、東北地方の仕入先様40数社中で特に被害の大きい福島県内の2社への支援活動を全社をあげて行いました。

海外の仕入先様などからの支援物資

海外の仕入先様や協力会社などからも、飲料水や防塵マスクなどさまざまな支援物資をお送りいただきました。支援物資は、太田市へ寄贈させていただきました。

被災・支援の様子



被災会社の設備の復旧作業



被災した石巻市の特約店様



被災会社への支援物資



代理店・特約店様への支援物資

このたびの大震災においては、代理店・特約店様、仕入先様ならびに関連する方々より多くのご協力やご支援をいただき、当社社員と一体となって復旧・支援活動を行うことができました。心よりお礼申し上げます。

国内仕様発電機を発売

東日本大震災の影響による電力事情の悪化に対応し、新たに国内仕様の発電機ELEMEXを発売致しました。



SH2500EX (定格 2.5kVA/50Hz, 単相)



SHX7000Di (7.0kVA/50Hz, 単相)
(ディーゼル、インバータ)
超低騒音仕様

特集 工場見学

澤藤電機は、ステークホルダーの方々への理解と信頼をより深めていただくために社会貢献活動を推進しております。

そのひとつとして、毎年工場見学を実施し、澤藤電機の製品ができるまでの機械、設備、ラインの様子、社員のモノづくりに取り組む姿、品質の造り込みの様子などを間近で見えていただき、会社、製品への理解を深めてもらい、信頼を得ることをめざしています。

2010年度は、新たに社員の家族の工場見学を実施し、コミュニケーションを深めました。工場見学の様子をご紹介します。

社員家族の工場見学

社員の家族をお招きして、日頃の感謝と当社への理解を深めていただくことを目的に、工場見学を行い、家族の働く職場も見てくださいました。

工場見学後には、お菓子のつかみ取りなどを行い楽しんでいただきました。

7家族(20名)が工場見学を行いました。

(2010年11月)



組み立てラインの見学



工場見学後のお菓子のつかみ取り

近隣学校の工場見学

近隣学校の社会科授業、求職活動として、また当社の将来にわたる人材確保の一環として積極的に工場見学の受け入れを行っています。

中学校(3クラス、82名)が工場見学を行いました。

(2010年3月)



工場見学の説明



組み立てラインの見学

福祉作業所との交流会

地域社会との交流を深めるため、会社と労働組合が合同で近隣の福祉作業所の方々を招いております。

5つの作業所(79名)を招き、工場見学、レクリエーションを通じ交流を深めました。

(2010年6月)



工場見学の様子



簡単な作業体験